

第8回留学報告書

五十嵐祐花

2024/01/05

忙しかった秋学期が終わり、12月は日本で年末年始を過ごしておりました。前回の報告書に記載したAppleでのインターンが8月末に終わってからは、11月中旬にあった論文の締め切りを目指し、研究漬けの日々を過ごしていました。同じプロジェクトのチームメイトで学部生の時からメンターをしている修士の学生二人と忙しくもとても楽しい締め切りを過ごすことができ、無事提出することが出来ました。査読の結果は来年まで分かりませんが、改めて、少数精鋭のチームでたくさん働くのはとても楽しく、自分に合っているなと感じました。

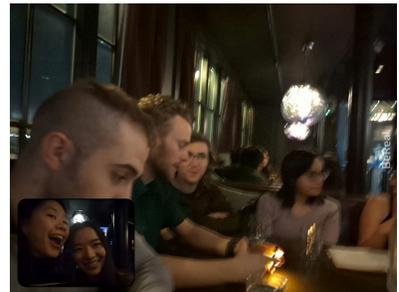
研究の他には、秋学期の間はロシア語の授業を聴講していました。ロシア語は昔から好きで独学していましたが、やはり先生に教えてもらおうと効率が段違いだということを実感しました。また、Twitterがここ半年で改悪されたため、最近は新しいSNSとしてBeRealにハマっています。下の写真も右の二つはBeRealで撮った写真です。



研究室の合同リトリートで
Cape Codに行きました



締め切り前日に修士の学生
達と三人で研究室に泊まり
込んでいる様子です



論文の提出を研究室の皆に
お祝いしてもらいました

12月3日に日本に一時帰国してからは、祖父母に会いに北海道や愛知県に行ったり、東京で友達や家族と会ったりとバタバタとした日々を送りました。不思議なもので、アメリカにいる間は日本のことをほとんど考えないし日本が遠く感じますが、日本に帰ってきたらアメリカでの研究や生活が夢のように思え、日本の家族や友人が近

くに感じていました。日本社会には渡米前は色々と思うところがありましたが、いざ一時帰国してみると、労働環境や男女差別といった社会の負の側面が徐々に改善されていっているように感じ、安定していて良い社会だなと思いました。友達や家族も元気にやっており、私が帰ってくると歓迎してくれ、戻って来れる温かい場所があるのは幸せなことだなと感じました。



富士山とスカイツリーが両方
機内から見えました



ウポポイでアイヌの民族
衣装を着ました



ゴールデンカムイの舞台
になった札幌ビール工場

4年目にもなり、「いつ卒業するの?」「卒業後何するの?」など聞かれることも増え、研究室で長老化して来ているのも感じます。早くともあと一年半は卒業しないと思いますが、これからは今まで以上に研究に打ち込んで、ラストスパートを頑張りたいと思っています。

結びになりますが、留学を実現するチャンスを与えてくださった船井情報科学振興財団の皆様に誠に感謝いたします。この場をお借りして、深くお礼申し上げます。